

# 日本ゴム協会の賞制度について

日本ゴム協会では、日本ゴム協会賞、ゴム技術進歩賞、優秀論文賞、ゴム技術有功賞、オーエンスレーガー賞、CERI若手奨励賞の各賞があり、会員の優れた業績に対し表彰していることは皆様もご承知のとおりですが、改めて各賞の設定経緯を記述して会員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。また、年次大会研究発表会とエラストマー討論会では若手優秀発表賞やCERI最優秀発表論文賞の表彰も行っております。

## 日本ゴム協会賞

本会創立60周年を記念して、ゴムならびにその周辺領域における科学、技術又はその産業分野の発展に寄与し、その功績著名な会員に対して授与する。

毎年11月30日までに会員、各支部、関連学協会代表者からご推薦いただき、委員会において選考する。

## ゴム技術進歩賞

本会創立15周年を記念してゴム技術の進歩発達に寄与するため設定されたもので、原則として毎年1件ゴム技術に関する研究課題について優秀な成績を示したものに対し授与する。

毎年、協会誌9月号会告に研究課題を発表し、応募締切を翌年1月末日として2月中旬、試験審査を行う。

## 優秀論文賞

本会創立25周年を記念してゴム科学および技術の発展と協会誌の充実を図るために設定されたもので、原則として毎年、協会誌に過去3年間発表された研究論文のうちから優秀と認められたもの2件を選び授与される。

選考は、優秀論文賞推薦委員会において最終的に科学的なものおよび技術的内容の優れた受賞候補3件を選定し、12月末日までに選定理由書を付して会長に報告する。会長は選定理由書と投票用紙を翌年1月31日までに会長および評議員を除く役員、支部長（委員長、委員、受賞候補者を除く）に配付して無記名投票を行い、3月の理事会で開票し、上位2件を受賞論文とする。

## ゴム技術有功賞

本会創立35周年を記念して、本会会員の中からゴムおよびプラスチック工業に関連する生産技術の向上に顕著な功績のあったものに対し、毎年2件以内授与される。

受賞候補者は、毎年11月30日までに会員の中から推薦されたものについて委員会において選考される。

## オーエンスレーガー賞

1957年米国ゴム工業の権威者・故オーエンスレーガー氏を記念するため、同未亡人が日本ゴム協会を通じて日本化学会に寄附した基金によって日本化学会および本会の合同の賞として、日本化学会、又は日本ゴム協会の会員として、ゴムに関連する学術および工業に貢献する貴重な研究、又は顕著な業績のあったものに対し隔年1件授与される。

受賞候補者は、授与される前年の11月30日までに会員、各支部、関連学協会代表者からご推薦いただき、委員会において選考する。

（平成9年度から日本ゴム協会単独の賞となる）

## 日本ゴム協会科学技術奨励賞

本会創立50周年を記念して、ゴムおよびプラスチックに関連する科学および技術の進歩発展に寄与する研究または調査を行っている本会会員を中心とした研究調査集団または会員個人に対し、隔年で100万円を限度として日本ゴム協会科学技術奨励金の贈呈を行ってきた。2007年に財団法人化学物質評価研究機構から若手を対象とする奨励制度の申し出があり、本会としても従来の科学技術奨励金を見直し、2008年から科学技術奨励賞として毎年授与することを決定した。

受賞候補者は毎年11月30日までに推薦または申請されたものについて委員会において選考する。

## CERI若手奨励賞

2007年に財団法人化学物質評価研究機構から若手を対象とする奨励制度の申し出があり、ゴムおよびプラスチックの評価・加工等の科学技術の進歩に寄与する若手研究者(会員)に毎年1件を授与する。

受賞候補者は毎年11月30日までに推薦または申請されたものについて委員会において選考する。